



イベント



かがわエネルギー産業フォーラム勉強会及び 成長のエンジンとなる分野における産総研の技術シーズ説明会

【開催趣旨】

香川県では、香川県産業成長戦略において成長のエンジンとなるエネルギー関連分野の産業を育成し、技術開発支援を目的とする「かがわエネルギー産業フォーラム」を設立し、セミナー等を開催しています。

このたび、エネルギー産業に関するさまざまな情報発信を行い、企業の取組の拡大につながるよう、平成27年度第3回目の勉強会を開催します。エネルギー分野に関連した企業や研究機関のほか、これからの進出を考えている方は、是非御参加ください！

また、同日同会場で、香川県と国立研究開発法人産業技術総合研究所が平成27年4月21日に締結した成長産業の育成等に関する連携協定に基づく産総研の技術シーズの説明会を開催します。国内最大級の公的試験研究機関である産総研と連携協力して研究開発に取り組みたい方、産総研の技術シーズに関心のある方は、是非御参加ください！

【日 時】 2016年3月25日（金） 13時00分～17時00分

【会 場】 ホテルパールガーデン 2階 讃岐（〒760-0066 香川県高松市福岡町2-2-1）

【参加費】 無料

【お申込み】 FAX、E-mail（締切：2016年3月22日(火)）

【プログラム概要】

○かがわエネルギー産業フォーラム勉強会

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～14:10 「地域の地質・地下水環境を活用した地中熱利用ヒートポンプシステム」
産総研 再生可能エネルギー研究センター 地中熱チーム長 内田 洋平14:20～15:20 「地中熱・地下水・地熱（温泉排湯）利用ヒートポンプシステムと導入事例」
ゼネラルヒートポンプ工業株式会社
再生可能エネルギー研究所 所長兼常務取締役 柴 芳郎 氏

○香川県・国立研究開発法人産業技術総合研究所の協力協定に基づく産総研技術シーズ説明会

15:30～17:00 産総研の技術シーズ説明

①情報・人間工学領域：（説明者未定）

②材料・化学領域：イノベーションコーディネータ 菅原 孝一

③エレクトロニクス・製造領域：上席イノベーションコーディネータ 前田 龍太郎

④エネルギー・環境領域：四国センター所長 田尾 博明

⑤生命工学領域：四国センター所長代理 大家 利彦

産総研の技術者による個別相談

【問い合わせ先】 香川県商工労働部産業政策課

Tel：087-832-3348、Fax:087-806-0210

E-mail：sangyo@pref.kagawa.lg.jp

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

かがわエネルギー産業フォーラム

検索

CLICK!!

http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir6/dir6_2/dir6_2_3/wldlmj160227112128.shtml

2016年3月号
2016.3.11
NO.136-2

AIST SHIKOKU NEWS

<http://www.aist.go.jp/shikoku/>



イベント



第15回ガスハイドレート産業創出イノベーション講演会 (第16回メタンハイドレート研究アライアンス講演会)

【開催趣旨】

産業技術総合研究所メタンハイドレート研究センターは、平成27年4月1日より創エネルギー研究部門メタンハイドレートプロジェクトユニットとして新たなスタートを切りました。これまで同様、我が国固有の非在来型天然ガス資源であるメタンハイドレート(MH)の生産手法の開発を進めるとともに、ハイドレートの特性を生かした産業利用・機能活用技術の普及に努めていきたいと考えています。第14回ガスハイドレート産業創出イノベーション講演会では、新組織の第一回講演会として、水素ハイドレートの水素貯蔵媒体として利用、セミクラスレートハイドレートの水素貯蔵特性等、水素ハイドレート研究の現状について、ガスハイドレートの基礎物性の観点から講演いただきました。今回、第15回講演会では、水素関連の現状のプロジェクトなどについて、より実用化に近いテーマでの講演会を開催させていただきます。ご多忙のことと存じますが、是非多くの皆様にご参加・ご議論いただきたく、ご案内申し上げます。

【日 時】 2016年3月29日（火） 13時20分～17時00分

【会 場】 産業技術総合研究所臨海副都心センター別館11階第1会議室
(〒135-0064 東京都江東区青海2-4-7)

【参加費】 無料

【お申込み】 E-mail（締切：2016年3月16日(水)）

【プログラム概要】

- 13:20～13:30 開会挨拶
産総研 メタンハイドレートプロジェクトユニット代表 天満 則夫
- 13:30～14:30 「水素ステーション先行整備における最新動向、課題と更なる普及に向けた見通し」（仮題）
大陽日酸株式会社 開発・エンジニアリング本部 プロジェクト推進統括部
水素ステーションプロジェクト 片岡 稔治 氏
- 14:30～15:30 「高圧水素ガス中材料試験装置を用いた材料評価技術の開発」（仮題）
産総研 創エネルギー研究部門 水素材料グループ 飯島 高志
- 15:30～15:45 休憩
- 15:45～16:45 「水素・エネルギーキャリアに関する技術開発動向」
産総研 創エネルギー研究部門 エネルギー変換材料グループ 高木 英行
- 16:45～17:00 総合討論
- 17:00 閉会挨拶
産総研 メタンハイドレートプロジェクトユニット代表 天満 則夫

【問い合わせ先】 MHPU-GHIC担当
E-mail：ghic-kouen-ml@aist.go.jp

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

ガスハイドレート産業創出イノベーション講演会

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/rief/mhpu/ghic15.html>



トピックス

産総研の最近の主な研究成果
(2016年2月のプレス発表より)

<発表・掲載日：2016/02/02>

染色体の大規模構造変異を高精度に検出できるアルゴリズムを開発
—細胞のがん化の原因究明とがんの早期発見につながることに期待—

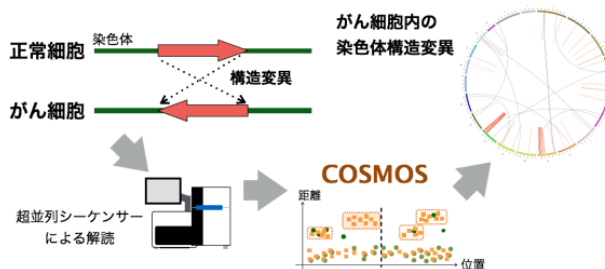
【ポイント】

- ・超並列DNAシーケンサーで得られる正常およびがん細胞ゲノム配列のビッグデータを高速・高精度に比較
- ・がん化した組織中のがん細胞の比率が低くても、がん細胞中の構造変異を高精度に検出可能
- ・がん細胞に特有のDNA変化を早期に検出し、的確な治療法を選択することが可能になることを期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160202/pr20160202.html

(創薬基盤研究部門)



<発表・掲載日：2016/02/02>

可視光全域の波長をカバーする、世界で初めての標準LEDを開発
—次世代照明の高精度な特性評価を目指して—

【ポイント】

- ・これまで困難であった可視光全域で十分な光強度をもつ標準LEDを開発
- ・複数色のLED素子と複数の蛍光体を組み合わせて実現
- ・LED照明や有機EL照明の高精度な特性評価と性能向上への貢献に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160202_2/pr20160202_2.html

(物理計測標準研究部門)



<前ページから>

<発表・掲載日：2016/02/05>

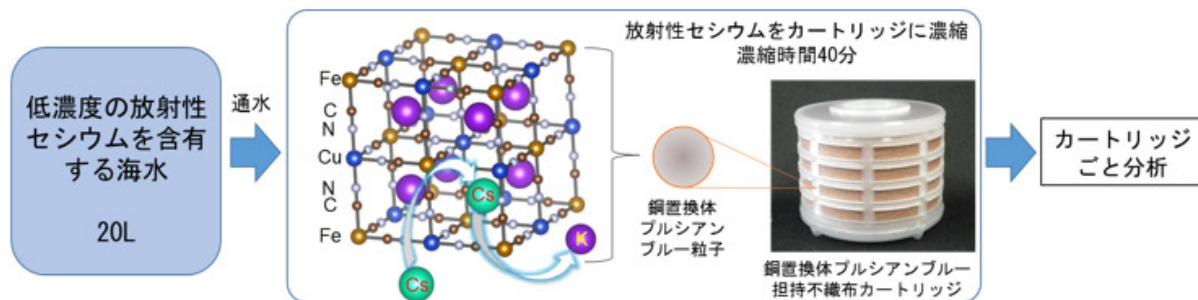
海水中の低濃度放射性セシウムを迅速にモニタリング

—銅置換体プルシアンブルーを用いて40分で20Lの海水中の放射性セシウムを捕捉—

【ポイント】

- ・銅置換体プルシアンブルー担持不織布を用いた海水中の放射性セシウムの前処理技術を開発
- ・水1Lあたり0.01ベクレル (Bq) という低濃度の放射性セシウムを約40分で濃縮可能
- ・海水中の放射性セシウムのモニタリングや動態評価、海産物への影響評価への貢献に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160205/pr20160205.html

<発表・掲載日：2016/02/09>

がん治療に用いるイリジウム192密封小線源線量のトレーサビリティを確立

—RALS（遠隔操作密封小線源治療）の照射線量の高精度化に寄与—

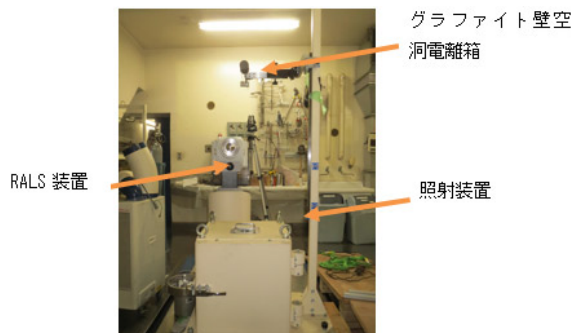
【ポイント】

- ・がん治療に用いられるイリジウム192 (Ir-192) 密封小線源の放射線量の標準を開発
- ・日本アイソトープ協会が所有する放射線測定器である井戸型電離箱へ線量の基準値を付与
- ・より正確な線量の評価により放射線治療の高精度化への貢献に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160209/pr20160209.html

(分析計測標準研究部門)



<次ページへ>

<前ページから>

<発表・掲載日：2016/02/13>

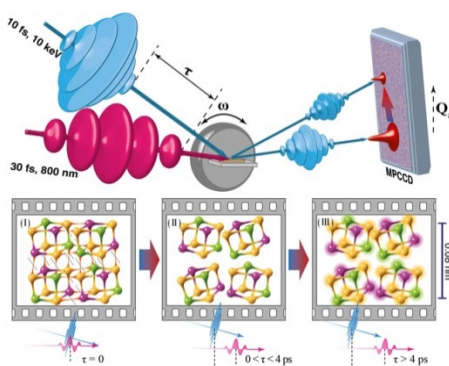
原子の瞬間移動のサブ・ナノメートルの分解能での実時間観測に成功 —X線自由電子レーザー「SACLA」の有効性を実証—

【ポイント】

- DVD記録材料のGe-Sb-Te薄膜で、原子がピコ秒スケールで瞬間移動する様子の観測に成功
- X線自由電子レーザーの極短パルスを用いることで、ピコ秒/サブ・ナノメートルの分解能を実現

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160213/pr20160213.html



<発表・掲載日：2016/02/16>

強誘電体中の新たな量子現象を発見

—量子揺らぎで軽量化した強誘電ドメイン壁の運動を解明—

【ポイント】

- 有機物質の強誘電体において、水素原子と同程度の有効質量を持つ強誘電ドメイン壁を発見

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160216/pr20160216.html

(フレキシブルエレクトロニクス研究センター)

